

日産車体株式会社
2022年度
第3四半期決算説明

(2023年3月期)



2023年2月

決算サマリー

当社グループを取り巻く環境は、前年同期と比べ生産活動が大幅に回復したものの、引き続き半導体不足に起因する一部の部品供給問題の影響や材料及びエネルギー価格の高騰等、先行き不透明な状況を注視する必要がある。売上台数が伸びた結果、増収・増益となった。

売上台数 前年同期と比べ26.8%増加の100,590台

売上高 「アルマーダ」や「パトロール」等の乗用車の売上が伸びた結果、732億円増加の2,187億円

営業損益 売上台数の増加等により63億円増加の15億円

経常損益 64億円増加の20億円

親会社株主に帰属
する四半期純損益

リコール関連費用戻入額の特別利益計上等により、47億円増加の16億円

2022年度 第3四半期 決算 <累計>

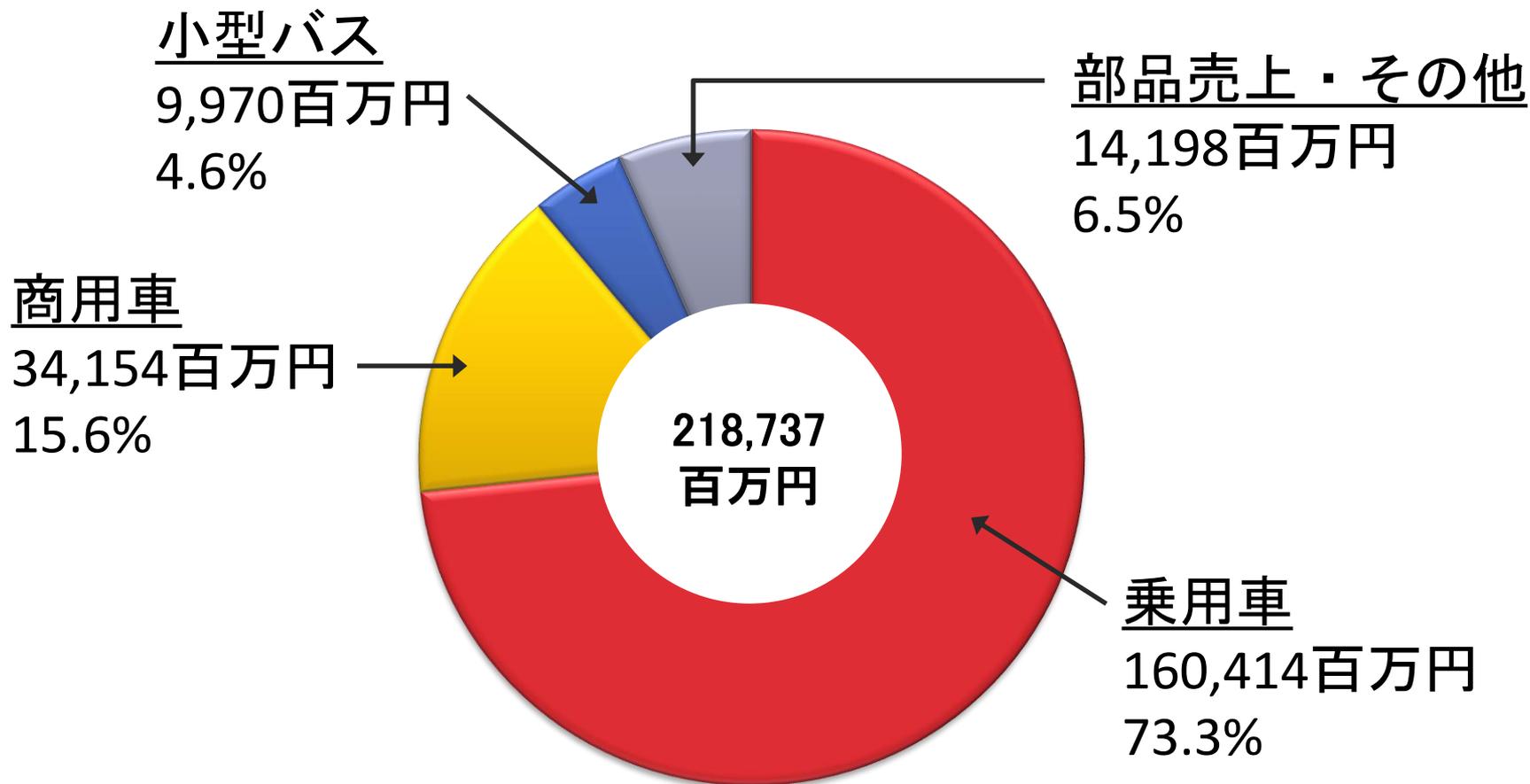
業績ハイライト

単位:百万円

	2021年度 第3四半期 (2021/4~12)	2022年度 第3四半期 (2022/4~12)	増減額(率)		通期計画
売上高	145,451	218,737	73,286	50.4%	309,600
営業損益	▲ 4,828	1,537	6,365	-	3,800
経常損益	▲ 4,375	2,090	6,465	-	4,500
親会社株主に帰属 する四半期純損益	▲ 3,126	1,669	4,795	-	3,100

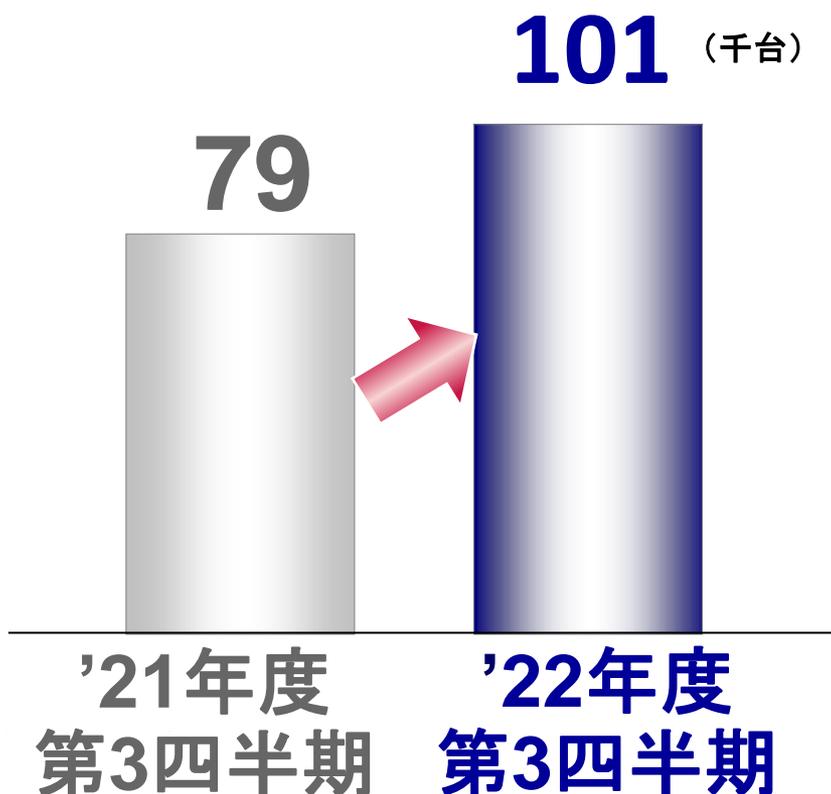
(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、当該会計基準等の適用により大きな影響の生じる売上高は、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

品目別売上高構成比



売上台数

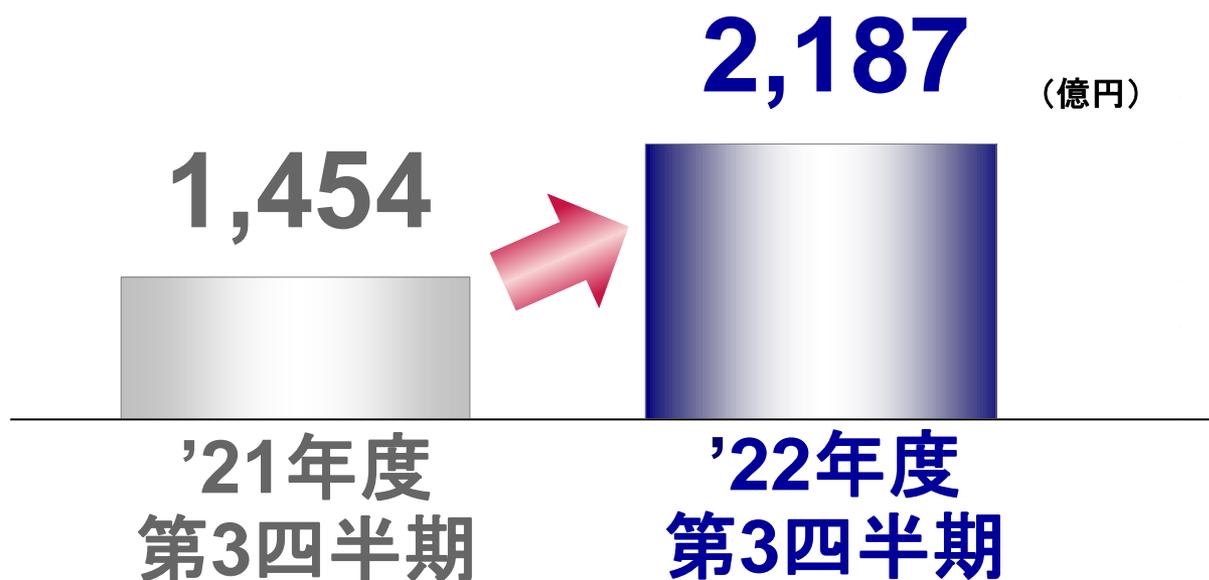
前年同期と比べ26.8%増加の100,590台



	前期実績	当期実績	増減率
乗用車	37	63	67.7%
商用車	37	30	▲17.7%
小型バス	5	8	47.9%
合計	79	101	26.8%

売上高

「アルマーダ」や「パトロール」等の乗用車の売上が伸びた結果、732億円増加の2,187億円

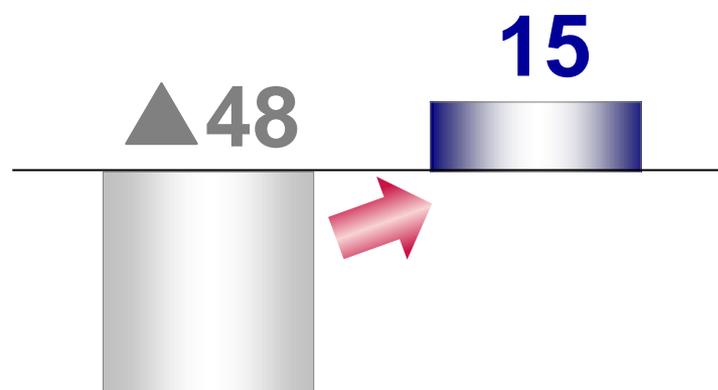


営業損益／経常損益

営業損益は売上台数の増加等により63億円増加の15億円

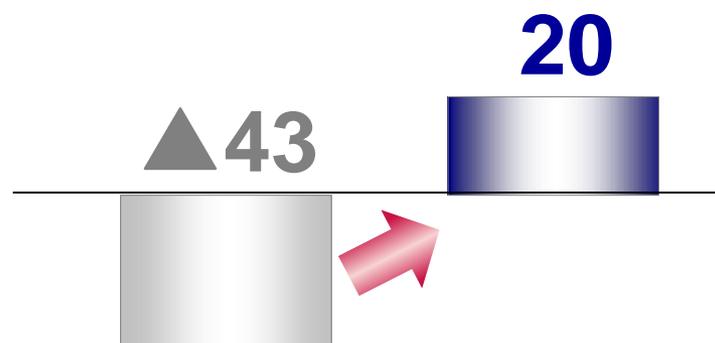
経常損益は64億円増加の20億円

営業損益 (億円)



'21年度 第3四半期 '22年度 第3四半期

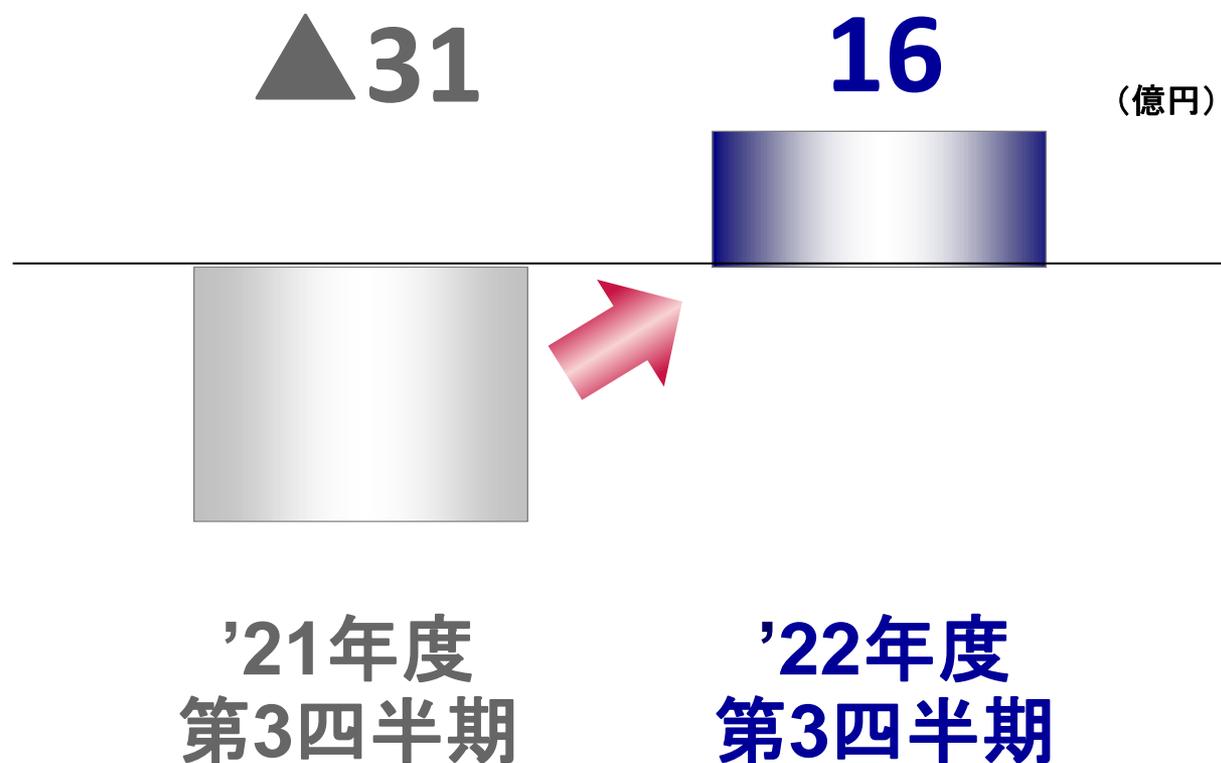
経常損益 (億円)



'21年度 第3四半期 '22年度 第3四半期

親会社株主に帰属する四半期純損益

リコール関連費用戻入額の特別利益計上等により、47億円増加の16億円



2022年度 1株当たり配当金

株主還元

安定配当を継続する基本方針のもと、年間13円を予定

■ 中間配当金 ■ 期末配当金

